

令和3年 (令和2年版) 消防年報



瀬戸内市消防本部

目 次

管内概況

1 位置・地勢	1
2 管内人口・世帯数・面積	1

沿 革

1 瀬戸内市消防本部の沿革	2～ 9
---------------	------

消防概況

1 消防庁舎の概況	10～11
-----------	-------

総 務

1 瀬戸内市消防本部の機構	12
2 歴代消防長	12
3 職員の定員・実員及び配置表	13
4 職員の階級別年齢状況	13
5 職員の階級別勤続年数	14
6 職員の研修状況	14
7 職員の特殊技能資格取得状況	15
8 応援協定締結状況	15
9 予算	16

予 防

1 防火対象物の現況と立入検査状況及び消防用設備等点検結果報告状況	17
2 防火管理者選任・消防計画作成状況	18
3 建築同意事務処理状況	19
4 建築同意事務処理の推移	19
5 消防用設備等関係届出事務処理状況	19
6 火災予防に関する届出等	20
7 過去10年間の防火対象物別火災件数	21
8 危険物施設の現況	22
9 危険物施設の形態	23
10 危険物規制事務状況	23
11 危険物関係立入検査状況	24
12 高圧ガス保安法関係施設数	25
13 高圧ガス保安法関係事務処理状況	25
14 液化石油ガス法事務処理状況	25
15 火薬類取締関係事務処理状況	25
16 自主防災組織結成状況	26
17 防火・防火指導. 実技指導. 広報活動状況	27

通 信

1 通信指令施設	28～29
2 有線通信施設	29
3 無線通信施設（デジタル、アナログ）	30
4 火災報知専用電話（119）月別受信状況	31

5	医療機関問い合わせの受付状況	32
6	月別気象状況	32
7	瀬戸内市の震度に関する情報	33

警 防 消 防

1	消防車両現勢一覧	34
2	火災概況	35
3	過去3年間の出火原因別火災発生状況	36
4	過去5年間の火災発生比較	37
5	過去10年間の火災動向	38
6	水利現況	38

警 防 救 急・救 助

1	救急概況	39
2	時間別出場件数	40
3	過去5年の署所別出場件数	40
4	曜日別月別救急出場件数	41
5	事故種別出場件数と男女別搬送人員	42
6	傷病程度別搬送状況	42
7	年齢区分別傷病程度の状況	43
8	事故種別応急処置状況	44
9	急病にかかる疾病分類・傷病程度別搬送人員	44
10	医療機関別搬送人員	45
11	管内管外別搬送人員	46
12	現場到着所要時間別出動件数状況	46
13	収容所要時間別搬送人員状況	47
14	発生場所別搬送人員	47
15	過去10年間の救急業務の推移	48
16	事故種別年齢区分別搬送人員	49
17	実技指導	50
18	救助概況	51

消 防 団

1	消防団の組織及び定員	52
2	消防団階級別人員調	53
3	団員の階級別年齢状況	54
4	団員報酬及び諸手当	55
5	消防団車両状況	56
6	出動状況	57

沿革

1. 瀬戸内市消防本部の沿革

昭和48年	7月	邑久地区消防組合設立協議会を設置。
	12月	邑久消防組合設置許可申請。
昭和49年	4月	邑久消防組合設立許可。(岡山県指令地第2号)
	〃	消防本部及び消防署設置についての政令指定を受ける。
	〃	消防職員15名を採用。
	5月	連絡車1台購入。
昭和50年	6月	邑久消防組合消防本部、邑久消防署の業務を開始。
	3月	日本損害保険協会より救急車1台寄贈を受ける。
昭和50年	4月	消防職員7名採用し、総員22名となる。
	〃	救急業務開始。
	5月	邑久消防組合消防本部、邑久消防署庁舎完成。
	7月	消防ポンプ自動車1台購入。
	〃	無線中継局舎完成。
	10月	無線局開局。
昭和51年	3月	岡山県共済農業協同組合連合会より救急車1台寄贈を受ける。
	4月	消防職員5名採用し、総員27名となる。
	6月	小型動力ポンプB-3級購入。
	7月	化学車1台購入。
昭和52年	4月	消防職員5名と一般職員1名採用し、総員33名となる。
	7月	日本消防協会より広報車1台寄贈を受ける。
	10月	消防ポンプ自動車1台購入。
	〃	牛窓分駐所庁舎完成。消防職員8名、消防ポンプ自動車1台、救急車1台を配備。
	12月	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車1台寄贈を受ける。
昭和53年	2月	日本損害保険協会より救急車1台寄贈を受ける。
	4月	消防職員9名採用し、総員42名となる。
	9月	日本消防協会より可搬積載車1台寄贈を受ける。
	10月	長船分駐所庁舎完成。消防職員8名、消防ポンプ自動車

		1台、救急車1台を配備。
昭和54年	3月	日本損害保険協会より救急車1台寄贈を受ける。
	〃	消防職員1名退職し、総員41名となる。
	4月	消防職員3名採用し、総員44名となる。
	9月	日本防火協会より予防広報車1台寄贈を受ける。
昭和55年	4月	消防職員1名採用し、総員45名となる。
	9月	日本消防協会より可搬積載車1台寄贈を受ける。
昭和56年	2月	岡山県共済農業協同組合連合会より救急車1台寄贈を受ける。
	4月	小型動力ポンプC-1級購入。
	9月	日本消防協会より指令広報車1台寄贈を受ける。
昭和57年	7月	消防職員1名退職し、総員44名となる。
昭和58年	8月	日本消防協会より救出救助用資器材搬送車1台寄贈を受ける。
昭和59年	4月	緊急連絡車1台購入。
昭和60年	2月	邑久消防組合敷地拡張造成工事をする。
	8月	邑久消防組合敷地購入。
	10月	15mはしごバスケット付消防ポンプ自動車購入。
	12月	岡山県共済農業協同組合連合会より救急車1台寄贈を受ける。
昭和61年	10月	消防庁舎増改築工事竣工。
昭和62年	3月	消防庁長官表彰 竿頭綬を受賞する。
	8月	邑久消防組合敷地購入。
	9月	日本消防協会より指令車1台寄贈を受ける。
	〃	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車1台寄贈を受ける。
	10月	照明付救助工作車購入。
	12月	日本自動車工業会より救急車1台寄贈を受ける。

昭和63年	8月	邑久消防組合敷地購入。
平成元年	3月	邑久消防組合訓練場造成完成。
	〃	消防職員1名退職し、総員43名となる。
	4月	消防職員2名採用し、総員45名となる。
	5月	連絡車1台購入。
平成2年	1月	日本損害保険協会より救急車1台寄贈を受ける。
	9月	日本防火協会より予防広報車1台寄贈を受ける。
平成3年	3月	消防職員2名退職し、総員43名となる。
	4月	消防長、邑久町役場より出向し、総員44名となる。
	5月	連絡車1台購入。
	12月	ISDN119番2台設置。
平成4年	2月	日本損害保険協会より救急車1台寄贈を受ける。
	3月	消防職員1名退職し、総員43名となる。
	4月	消防職員3名(内1名は女性消防士)採用し、総員46名となる。
	10月	消防ポンプ自動車1台購入。
	〃	今城地区119番電話回線切替え。
平成5年	4月	消防職員2名を採用し、総員48名となる。
	〃	臨時職員を1名採用する。
	〃	一般職員から消防職員(女性消防吏員)に任命する。
	9月	臨時職員1名退職する。
	10月	消防ポンプ自動車1台購入。
	11月	新消防庁舎の敷地造成起工。
平成6年	3月	新消防庁舎の敷地造成完成。
	4月	消防職員2名採用し、総員50名となる。
	〃	臨時職員1名採用する。
	5月	邑久消防組合消防本部、消防署新庁舎及び防災センター起工。
	8月	邑久町虫明 横山春松氏より救急車1台寄贈を受ける。

平成7年	1月	兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）が発生し、神戸市へ応援活動。
	3月	邑久消防組合消防本部、消防署新庁舎及び防災センター完成。
	3月	通信指令設備新設（総合指令台Ⅰ型、無線通信設備、気象観測装置、支援情報表示盤、非常用指令設備、録音装置、職員出退表示、電話交換機）
	〃	邑久消防組合20周年記念式典及び新庁舎完成落成式典。
	4月	新消防庁舎へ移転、防災センター業務開始。
	〃	消防職員2名採用し、総員52名となる。
	〃	防災通信ネットワーク完成、運用開始。
	9月	臨時職員1名退職。
	10月	臨時職員1名採用する。
	11月	旧消防庁舎解体工事完了。
	12月	訓練塔完成（鉄筋コンクリート造・5階建）
	〃	消防職員1名退職し、総員51名となる。
平成8年	4月	消防職員3名採用し、総員54名となる。
	5月	資機材搬送車（軽四輪車）1台購入。
	8月	可搬積載車1台購入。
	10月	消防職員委員会発足。
	〃	水槽付消防ポンプ自動車1台購入。
	12月	岡山県共済農業協同組合連合会より救急車1台寄贈を受ける。
平成9年	1月	消防職員1名退職し、総員53名となる。
	3月	消防長退任・職員1名退職し、総員51名となる。
	4月	消防職員1名採用し、総員52名となる。
	〃	消防長、再任用され、総員53名となる。
	〃	救急救命士2名誕生する。
	7月	消防職員1名退職し、総員52名となる。
平成10年	4月	消防職員1名採用し、総員53名となる。
	〃	岡山県災害医療情報システム設置、運用開始。
	〃	救急救命士3名となる。
	11月	移動体通信119番転送、受信装置設置、運用開始。

平成11年	2月	高規格救急車1台購入。
	3月	消防長退任・職員1名退職し、総員51名となる。
	4月	消防職員1名採用し、総員52名となる。
	〃	消防長就任、総員53名となる。
	〃	救急救命士4名となる。
	〃	高規格救急車、運用開始。
平成12年	12月	コンピューター西暦2000年問題警戒体制をとる。
	4月	消防職員1名採用し、総員54名となる。
	〃	救急救命士5名となる。
	8月	日本損害保険協会より化学車1台寄贈を受ける。
平成13年	11月	指揮車1台購入。
	3月	日本消防協会より司令車1台寄贈を受ける。
	〃	消防庁長官表彰 表彰旗を受賞する。
	4月	救急救命士6名となる。
	5月	連絡車1台購入。
	6月	邑久郡防災広域ネットワーク運用開始。
	8月	資機材搬送車1台購入。
平成14年	〃	可搬積載車(軽四)1台購入。
	3月	日本自動車工業会より高規格救急車1台寄贈を受ける。
	〃	消防職員1名退職し、総員53名となる。
	4月	職員定数条例の改正により定数68人となる。
	〃	消防職員4名採用し、総員57名となる。
	〃	救急救命士7名となる。
平成15年	〃	連絡車1台購入。
	4月	消防職員5名採用し、総員62名となる。
	〃	救急救命士8名となる。
平成16年	6月	消防職員1名退職し、総員61名となる。
	3月	消防職員1名退職し、総員60名となる。
平成16年	〃	消防ポンプ自動車1台購入。
	4月	消防職員5名採用し、総員65名となる。
	〃	救急救命士9名となる。
	7月	消防職員1名退職し、総員64名となる。

平成17年	11月	瀬戸内市発足に伴い、瀬戸内市消防本部となる。
	〃	瀬戸内市から職員1名配属され、総員65名となる。
	〃	瀬戸内市より連絡車1台寄贈を受ける。
	12月	消防職員1名退職し、総員64名となる。
	〃	救助工作車1台を更新。
	1月	消防職員1名退職し、総員63名となる。
	4月	消防職員5名採用し、総員68名となる。
平成18年	〃	救急救命士10名となる。
	10月	長船分駐所の増・改修工事完了。
	11月	高規格救急車1台購入。
	12月	携帯電話からの119番直接受信開始。
	3月	消防職員1名退職し、総員67名となる。
	4月	消防職員2名採用し、総員69名となる。
	〃	救急救命士11名となる。
平成19年	12月	消防職員1名退職し、総員68名となる。
	1月	はしご車1台を更新。
	3月	消防職員1名退職し、総員67名となる。
	4月	消防長、就任し総員68名となる。
	〃	消防職員1名採用し、総員69名となる。
	〃	救急救命士12名となる。
	5月	瀬戸内市消防団より消防ポンプ自動車1台移管。
平成20年	12月	消防職員1名退職し、総員68名となる。
	3月	消防職員2名退職し、総員66名となる。
	4月	消防職員1名採用し、総員67名となる。
	〃	救急救命士13名となる。
平成21年	〃	救急救命士13名となる。
	3月	消防長退任、消防職員2名退職し、総員64名となる。
	4月	消防職員4名採用し、総員68名となる。
	〃	消防長就任する。
	〃	救急救命士14名となる。
平成22年	11月	高規格救急車1台購入。
	3月	牛窓分駐所CD-I消防ポンプ自動車1台更新。

平成23年	〃	高機能指令センター統合型指令装置更新整備。
	〃	消防職員1名退職し、総員67名となる。
	4月	消防職員2名採用し、総員69名となる。
	〃	救急救命士15名となる。
	7月	消防職員1名退職し、総員68名となる。
平成24年	3月	東日本大震災が発生し、宮城県多賀城市へ応援活動。
	〃	消防職員1名退職し、総員67名となる。
	4月	消防職員2名採用し、総員69名となる。
	〃	岡山市消防局と人事交流し、職員1名を相互に派遣する。
	〃	救急救命士16名となる。
平成24年	3月	消防職員1名退職し、総員68名となる。
	4月	消防職員1名採用し、総員69名となる。
	〃	救急救命士17名となる。
平成25年	11月	全国共済農業協同組合連合会岡山県本部より、高規格救急車1台寄贈を受ける。
	3月	消防職員1名退職し、総員68名となる。
	〃	岡山市消防局と人事交流を終了する。
	4月	消防職員1名採用し、総員69名となる。
平成26年	〃	救急救命士17名となる。
	3月	消防長退任し、総員68名となる。
	〃	瀬戸内市職員1名市へ帰職し、総員67名となる。
	4月	消防救急デジタル無線運用開始。
	〃	消防職員2名採用し、総員69名となる。
平成27年	〃	消防長就任する。
	〃	救急救命士18名となる。
	8月	豪雨による広島土砂災害が発生し、安佐南区へ応援活動。
	3月	消防職員1名退職し、総員68名となる。
平成27年	4月	消防職員1名採用し、総員69名となる。
	〃	岡山市消防局と人事交流し、職員1名を相互に派遣する。
	〃	救急救命士19名となる。

平成28年	4月	岡山県消防学校と人事交流し職員1名を相互に派遣する。
	〃	救急救命士20名となる。
	〃	熊本地震が発生し、熊本県益城町へ応援活動。
平成29年	3月	消防職員2名退職し、総員67名となる。
	4月	消防職員5名採用し、総員72名となる。
	〃	消防長就任する。
	〃	岡山市消防局と人事交流し、職員1名を相互に派遣する。
	〃	救急救命士22名となる。
	〃	岡山県消防防災航空隊へ1名派遣する。
	10月	消防職員1名退職し、総員71名となる。
平成30年	3月	消防職員5名退職し、総員66名となる。
	4月	消防職員6名採用し、総員72名となる。
	〃	救急救命士23名となる。
	7月	平成30年7月豪雨災害が発生し、倉敷市真備町へ県下消防相互応援協定に基づく応援活動。
平成31年	3月	消防職員2名退職し、総員70名となる。
	4月	消防職員6名採用し、総員76名となる。
	〃	消防長就任する。
	〃	救急救命士24名となる。
令和元年	6月	消防職員1名退職し、総員75名となる。
令和2年	3月	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車1台購入。
	〃	消防職員8名退職し、総員67名となる。
	4月	消防職員6名採用し、総員73名となる。
	〃	岡山県消防学校へ1名派遣する。
	〃	救急救命士26名となる。
	12月	日本損害保険協会より、高規格救急車1台寄贈を受ける。
令和3年	3月	消防職員3名退職し、総員70名となる。
	4月	消防職員3名採用し、総員73名となる。
	〃	消防長就任する。
	〃	救急救命士25名となる。

消防概況

1. 消防庁舎の概況

消防本部・消防署・防災センター



所在地	岡山県瀬戸内市邑久町本庄 1795 番地
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 2階建
延面積	2008.92㎡(防災センター555㎡)
敷地面積	8077.46㎡
	平成7年3月竣工

消防訓練塔



概要	鉄筋コンクリート造 5階建
地上高	18.80m
建築面積	34.32㎡
延面積	138.87㎡
	平成7年12月竣工

瀬戸内市消防署 牛窓分駐所



所在地	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓 6405-1
構造	鉄筋コンクリート造 2階建
延面積	201.21 m ²
敷地面積	341.25 m ²
	昭和 52 年 10 月竣工

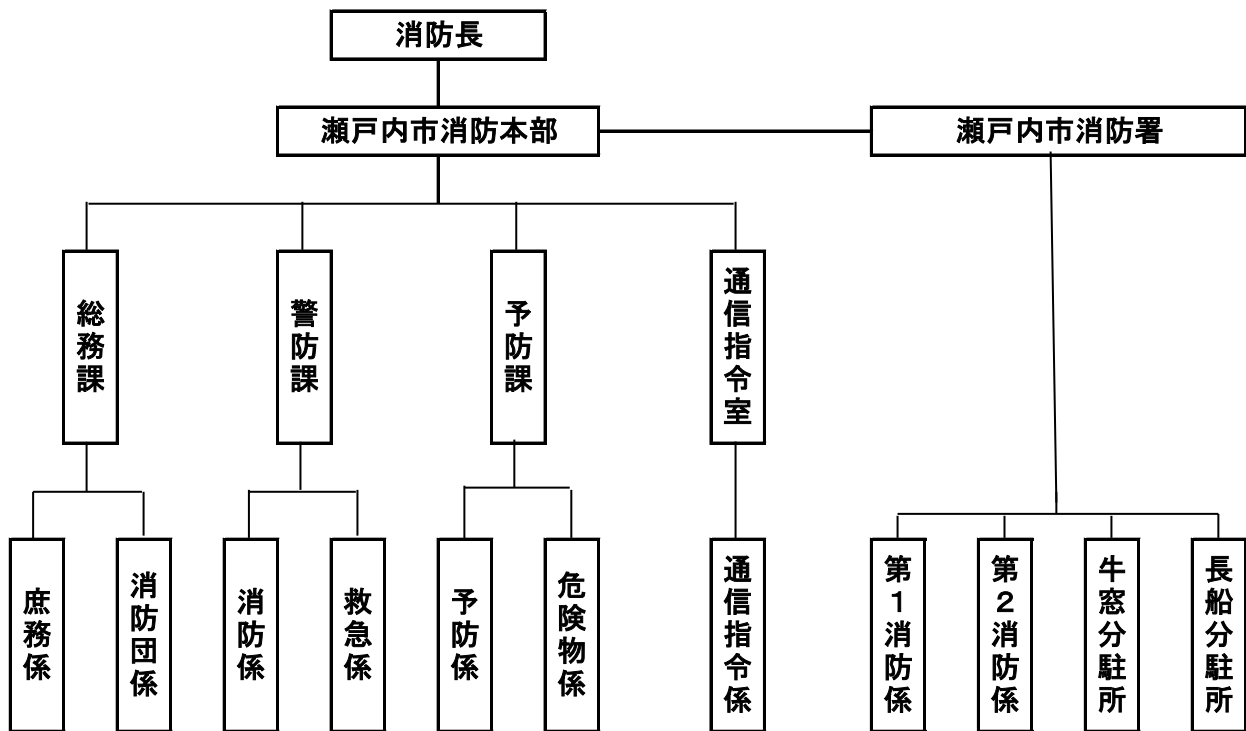
瀬戸内市消防署 長船分駐所



所在地	岡山県瀬戸内市長船町土師 1175-2
構造	鉄筋コンクリート 2階建
延面積	201.59 m ²
敷地面積	261.41 m ²
	昭和 53 年 10 月竣工

総務

1. 瀬戸内市消防本部の機構



2. 歴代消防長

瀬戸内市消防本部				
歴代 消 防 長	初代	太田英晴	H 16.11.1 ~ H 18.3.31	専任
	2代	藤原和正	H 18.4.1 ~ H 19.3.31	〃
	3代	小野田和義	H 19.4.1 ~ H 21.3.31	〃
	4代	柴田佳明	H 21.4.1 ~ H 26.3.31	〃
	5代	岡崎政人	H 26.4.1 ~ H 29.3.31	〃
	6代	鶴海栄一	H 29.4.1 ~ H 31.3.31	〃
	7代	高原正利	H 31.4.1 ~ R 3.3.31	〃
	8代	田淵光彦	R 3.4.1 ~ (現在)	〃

3. 職員の定員・実員及び配置表

【定員80名】

令和3年4月現在

階 級		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
実 員		1	10	19	19	9	15	73
実員配置列	消 防 長	1						1
	次 長							0
	総 務 課		1	4(1)	1(1)	(2)	(3)	6(7)
	警 防 課		3	1(3)	(3)	1(1)	(2)	5(9)
	予 防 課		2	1(2)	1(5)	(1)	(2)	4(9)
	通信指令室		1	2	3(3)	1(1)	(3)	7(7)
	消 防 署		3(3)	6(3)	12(5)	5(2)	13	39(13)
	分 駐 所		(1)	5	2	2	2	11(1)

()内は兼務

4. 職員の階級別年齢状況

令和3年4月現在

階 級		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
年齢区分								
18歳 ~ 19歳							1	1
20歳 ~ 24歳							12	12
25歳 ~ 29歳					2	6	2	10
30歳 ~ 34歳					13	3		16
35歳 ~ 39歳				6	4			10
40歳 ~ 44歳			1	10				11
45歳 ~ 49歳			6	2				8
50歳 ~ 54歳			3	1				4
55歳 以上		1						1
平均年齢		59.0	47.7	41.7	32.9	27.7	22.9	34.9
計		1	10	19	19	9	15	73

5. 職員の階級別勤続年数

令和3年4月現在

階級 年数区分	階級						総数
	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防長	消防副士長	消防士	
1年未満						3	3
1年以上～3年未満					3	8	11
3年以上～5年未満				1	5	4	10
5年以上～7年未満					1		1
7年以上～9年未満				3			3
9年以上～11年未満				3			3
11年以上～13年未満				5			5
13年以上～15年未満				2			2
15年以上～17年未満			3	4			7
17年以上～19年未満			6	1			7
19年以上～21年未満			4				4
21年以上～23年未満			2				2
23年以上～25年未満		1	1				2
25年以上～27年未満		2	2				4
27年以上～29年未満		4					4
29年以上～31年未満		1	1				2
31年以上～33年未満		2					2
33年以上～35年未満							0
35年以上～37年未満							0
37年以上	1						1
平均勤続年数	41	27.6	19.8	11.5	3.2	1.5	13.2
計	1	10	19	19	9	15	73

6. 職員の研修状況（過去15年間）

令和3年4月現在

	年	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2	総数	
岡山県消防学校	初任教育	2	1	1	4	2	2		1	2	1		4	5	6	5	36	
	幹部教育(初級幹部)	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2	19	
	幹部教育(中級幹部)											1	2	1	1	1	7	
	救助科	5	2	1	1	3	2	2	1	1	2	1	1	4	5	6	37	
	予防課程	2		1		1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2	16	
	救急課程	2	1	1	4	2	2		1	2	1		4	5	6	5	36	
	警防課程	2	1		1		2	1	1	1	1	2	1	1	1	2	17	
	火災調査課程	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	2	18	
	梯子操作科	2	1	1	2		2	1	1	1	1	2	1	1			16	
	救急二次救命講習			2		1		1									4	
	ビデオ硬性喉頭鏡講習								1	3	4	2			2	2	14	
	ショック輸液・ブドウ糖投与講									1	2			3			6	
	救急外傷初療講習				1		1		1								3	
	MCLS										1						1	
	ブラッシュアップ研修															2	2	4
	実火災体験型訓練指導者研修															1		1
消防大学校	予防科													1			1	
	警防科										1					1	2	
	幹部研修科					1											1	
	救急科																0	
	火災原調科													1			1	
	救助科	1															1	
	危険物科	1															1	
	火災調査講習会																0	
調査研究科(自主防災指導者コース)																0		
救急救命士養成所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15	

7.職員の特殊技能資格取得状況

令和3年4月現在

階 級 資 格 別	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
実 員	1	10	19	19	9	15	73
普通自動車運転免許	1	10	19	19	9	15	73
大型（第1種）運転免許	1	10	17	18	4	1	51
特殊無線技師（2級特技）	1	10	19	19	9	15	73
危険物取扱者乙4類		4	6	12	3	3	28
小型船舶操縦士		3	9	10		2	24
アセチレンガス溶接			3	3			6
労働衛生管理者（第1種）				4			4
消 防 設 備 士			2	2	1	2	7
電 気 工 事 士		1	1		1		3
移 動 式 ク レ ー ン		4	13	11			28
玉 掛 け	1	5	13	11		1	31
救 急 救 命 士	1	6	9	5	3	1	25
予防技術検定（査察・設備・危険物）		3	3	6			12

8.応援協定締結状況

	相手市町村名	締結年月日
1	東 備 消 防 組 合	昭 和 51 年 5 月 1 日
2	赤 磐 市 消 防 本 部	昭 和 51 年 7 月 1 日
3	岡山県下78市町村9消防組合	平 成 2 年 4 月 1 日
4	岡 山 市	平 成 17 年 3 月 22 日

9.予 算

(1) 令和3年度消防予算（当初）額と令和2年度消防予算（当初）額 単位：千円

	令和3年度予算	令和2年度予算	比 較 増 減
常備消防費	575,787	548,643	27,144
給料	260,337	248,286	12,051
職員手当等	156,181	146,229	9,952
共済費	76,327	72,642	3,685
報償費	10	10	0
旅費	1,561	1,757	△ 196
需用費	18,162	19,692	△ 1,530
役務費	6,800	5,984	816
委託料	7,981	7,897	84
使用料及び賃貸料	2,684	1,703	981
工事請負費	983		983
原材料費	20	20	0
備品購入費	1,815	2,177	△ 362
負担金補助及び交付金	42,215	41,858	357
公課費	711	388	323
非常備消防費	40,258	43,554	△ 3,296
報酬	10,748	10,948	△ 200
報償費	30	30	0
旅費	7,330	7,662	△ 332
交際費	50	50	0
需用費	2,921	4,249	△ 1,328
役務費	2,032	2,271	△ 239
委託料	58	58	0
使用料及び賃貸料	75	74	1
備品購入費		1,220	△ 1,220
負担金補助及び交付金	16,533	16,582	△ 49
公課費	481	410	71
消防施設費	69,824	65,863	3,961
委託料	3,410	1,000	2,410
工事請負費	1,100	29,750	△ 28,650
備品購入費	64,104	17,500	46,604
公有財産購入費		16,113	△ 16,113
負担金補助及び交付金	1,210	1,500	△ 290
合 計	685,869	658,060	27,809

(2) 令和3年度消防予算（当初）額等の比率

単位：円

	総 額	人口1人当り	1世帯当り	1日当り
消防予算（当初）額	685,869,000	18,583	43,583	1,879,093

※水防費は除く

予 防

1. 防火対象物の現況と立入検査状況及び消防用設備等点検結果報告状況

令和2年度

防火対象物の区分		防火対象物数	立入検査数	立入検査率	点検結果報告件数
1	イ 劇場・映画館・演芸場・観覧場				
	ロ 公会堂・集会場	51	8	16%	36
2	イ キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等				
	ロ 遊技場・ダンスホール	3	2	67%	2
	ハ 風俗営業店舗等・その他総務省令				
	ニ カラオケボックスその他	1		0%	1
3	イ 待合・料理店等				
	ロ 飲食店	16	1	6%	5
4	百貨店・マーケット・店舗・展示場	54	13	24%	35
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所	45	11	24%	25
	ロ 寄宿舍・下宿・共同住宅	147		0%	61
6	イ 病院・診療所・助産所等	64		0%	49
	ロ 老人短期入所施設等	19	1	5%	19
	ハ 老人デイサービスセンター等	35	11	31%	25
	ニ 幼稚園・盲学校・ろう学校・養護学校	6		0%	6
7	小・中・高・大・各種学校等	45		0%	32
8	図書館・博物館・美術館等	16		0%	12
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場等				
	ロ イ以外の公衆浴場				
10	車両の停車場・船舶・航空機の発着場				
11	神社・寺院・教会等	25	2	8%	6
12	イ 工場・作業場	238	3	1%	99
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ				
13	イ 自動車車庫・駐車場	18		0%	5
	ロ 飛行機・回転翼航空機の格納庫				
14	倉庫	187	7	4%	64
15	前各項に該当しない事業所	179	4	2%	62
16	イ 特定複合用途防火対象物	65	4	6%	29
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	66		0%	23
16の2	地下街				
16の3	準地下街				
17	重要文化財・重要美術品等の建造物	15	12	80%	6
18	延長50m以上のアーケード				
19	市町村の指定する山林				
20	総務省令で定める舟車				
合 計		1,295	79	6.1%	602

備考 建築物は、17の項を除き延べ面積が150㎡以上のものを、防火対象物数にあっては、3月31日現在で、計上している

2. 防火管理者選任・消防計画作成状況

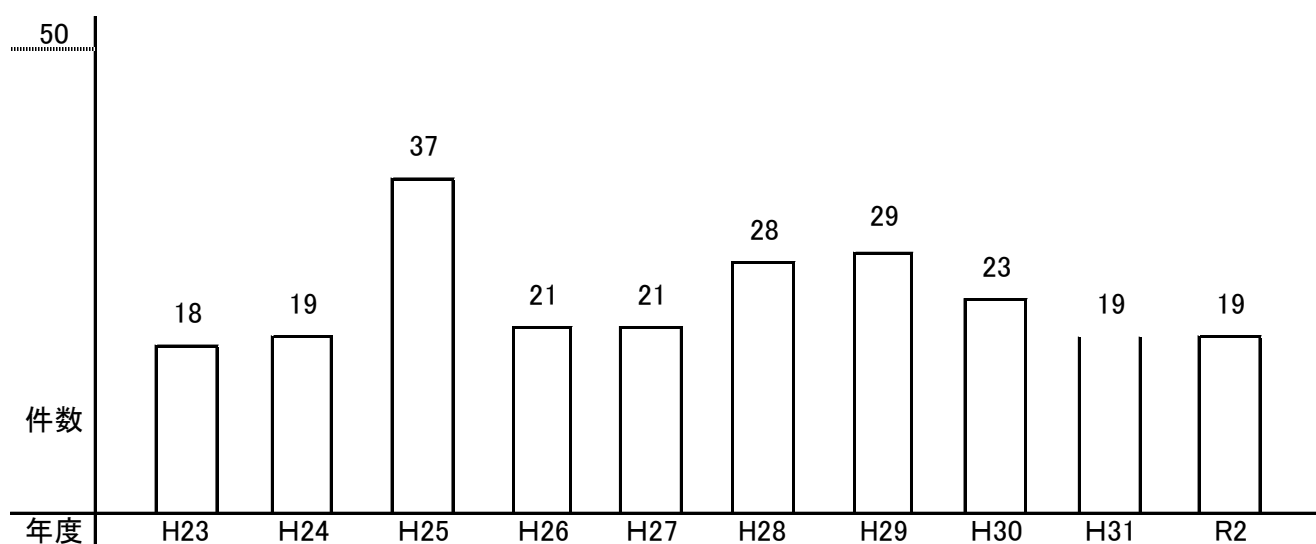
令和2年度

防火対象物の区分		防火管理者選任 及び消防計画作成 義務対象物数	防火管理者届出 済対象物数	消防計画届出 済対象物数
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場		
	ロ	公会堂・集会場	14	14
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等		
	ロ	遊技場・ダンスホール	2	2
	ハ	風俗営業店舗等・その他総務省令		
	ニ	カラオケボックスその他		
3	イ	待合・料理店等		
	ロ	飲食店	4	3
4		百貨店・マーケット・店舗・展示場	28	26
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	18	17
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	9	6
6	イ	病院・診療所・助産所等	5	5
	ロ	老人短期入所施設等	16	15
	ハ	老人デイサービスセンター等	16	14
	ニ	幼稚園・盲学校・ろう学校・養護学校	5	5
7		小・中・高・大・各種学校等	16	15
8		図書館・博物館・美術館等	1	1
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等		
	ロ	イ以外の公衆浴場		
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場		
11		神社・寺院・教会等	3	1
12	イ	工場・作業場	20	16
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ		
13	イ	自動車車庫・駐車場		
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫		
14		倉庫	8	6
15		前各項に該当しない事業所	19	17
16	イ	特定複合用途防火対象物	26	25
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	9	7
16の2		地下街		
16の3		準地下街		
17		重要文化財・重要美術品等の建造物	1	
18		延長50m以上のアーケード		
19		市町村の指定する山林		
20		総務省令で定める舟車		
		合計	220	195
				192

3. 建築同意事務処理状況 令和2年度

工事種別	件数
新築	13
増築	5
改築	0
その他	1
合計	19

4. 建築同意事務処理の推移



5. 消防用設備等関係届出事務処理状況

		平成31年度															
		消火器	屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	泡消火設備	粉末消火設備	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備	漏電火災警報器	火災通報装置	非常警報設備(ベル)	非常警報設備(放送)	避難器具	誘導灯及び誘導標識	消防用水	連結送水管
着工届		1	3	2	0	0	3	0	35	0	1	2	1	1	22	0	0
設置届		15	5	4	0	0	3	0	57	0	3	3	0	0	38	0	0

6. 火災予防に関する届出件数

令和2年度

届出等の種別	月別													
	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
防火対象物使用開始届	18	1	1	1	1		1	2	2	1	1	3	4	
防火管理者選任・解任届	40	6		2	4	1	3	4	3	2	2	7	6	
消防計画作成・変更届	41	7	1	2	4		3	3	3	3	3	6	6	
防火対象物点検結果報告書	24		1	1	1	1	1	2	1	3	9	1	3	
自衛消防訓練通知書	189	14	12	21	12	9	16	22	17	20	11	14	21	
改修計画書	23			1	3		5	4	3	1	4		2	
消防用設備等計画届	16	2			2		2		1	3	1	2	3	
消防用設備等特例適用申請 消防用設備等免除申請	0													
液化石油ガス等の貯蔵取扱い届	0													
少量危険物・指定可燃物の貯蔵取扱い届	32	6	3	2	2	4		2	2		5	4	2	
火を使用する設備の設置届	9	2	1	2					2		2			
変電・発電・蓄電池設備の設置届	11		1		2	2	1			1	2	2		
煙火打上げ届	20		1	1	4	1	6	2	2	1		1	1	
露店等の開設届出書	14				1	1	2	3	2	2	1	1	1	
火災とまぎらわしい煙(火炎)を発生する行為の届	117	5	15	7	4	7	12	5	11	10	14	14	13	
圧縮アセチレンガス貯蔵開始届	6			1	1						2	1	1	
合 計	560	43	36	41	41	26	52	49	49	47	57	56	63	

7. 過去10年間の防火対象物別火災件数

防火対象物の区分		23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年	2年	
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場										
	ロ	公会堂・集会場										
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等										
	ロ	遊技場・ダンスホール										
	ハ	風俗営業店舗等・その他総務省令										
	ニ	カラオケボックスその他										
3	イ	待合・料理店等										
	ロ	飲食店										
4			1					1				
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所										
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅										
6	イ	病院・診療所・助産所等										
	ロ	老人福祉施設・児童福祉施設等										
	ハ	幼稚園・盲学校・ろう学校・養護学校										
7		小・中・高・大・各種学校等										
8		図書館・博物館・美術館等										
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等										
	ロ	イ以外の公衆浴場										
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場										
11		神社・寺院・教会等										
12	イ	1	1	1	1		3		1	2	1	
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ										
13	イ	自動車車庫・駐車場										
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫										
14		倉庫										
15		前各項に該当しない事業所										
16	イ	特定複合用途防火対象物										
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物										
16の2		地下街										
16の3		準地下街										
17		重要文化財・重要美術品等の建造物										
18		延長50m以上のアーケード										
19		市町村の指定する山林										
20		総務省令で定める舟車										
		合 計	1	2	1	2	3	5	4	1	2	2

備考 []書きは死者、()書きは負傷者の人数を表す

8. 危険物施設の現況

令和2年度

製造所等の別 指定数量の倍数別 類別	合計	製造所	貯蔵所							取扱所	
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所
合計	155	9	29	18	1	34	1	7	2	26	28
5倍以下	51	2	12	11		13	1	5			7
5倍を超え 10倍以下	29	2	6	3	1	7		1	2		7
10倍を超え 50倍以下	48	3	5	2		10		1		15	12
50倍を超え 100倍以下	11	2	3							4	2
100倍を超え 150倍以下	9		2	2		1				4	
150倍を超え 200倍以下	1		1								
200倍を超え1000倍以下	6					3				3	
第3類のみ	1		1								
第4類のみ	148	6	25	18	1	34	1	7	2	26	28
類混在	6	3	3								

11. 危険物関係立入検査状況

令和2年度

製造所等の別	合計	無許可・無承認の場所	仮貯蔵・仮取扱	危険物施設										少量危険物貯蔵取扱所	施工検査	休止・再開検査	廃止検査	道路上等		事故調査		
				製造所	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所					移動タンク貯蔵所	危険物運搬車両			
対象施設数	155	0	0	9	29	18	1	34	1	7	2	26	28	274	0	0	2	1	0	0		
実施施設数	40	0	0	9	13	4	0	4	0	0	0	6	4	47	0	0	2	0	0	0		
実施率(%)	平成31年度	70	0	0	100	62	33	0	18	0	100	0	54	36								
	平成30年度	113	0	0	100	66	56	0	53	0	100	0	81	69								
	平成29年度	113	0	0	100	80	94	0	39	0	100	0	100	55								
	平成28年度	17	0	0	0	7	5	0	10	0	89	0	30	15								
	平成27年度	9	0	0	0	0	5	0	15	0	30	0	10	12								
	平成26年度	52	0	0	100	45	53	0	38	100	89	0	39	54								
	平成25年度	29	0	0	0	10	32	0	13	0	100	0	58	28								
	平成24年度	26	0	0	63	17	32	100	28	0	75	50	10	19								
	平成23年度	24	0	0	60	17	30	100	23	0	67	50	9	18								

12. 高圧ガス保安法関係施設数

令和2年度

区 分	一 般 ・ L P 則	冷 凍 則	合 計
第 1 種 製 造 者	6	4	10
第 2 種 製 造 者	5	28	33
第 1 種 貯 蔵 所	1	0	1
第 2 種 貯 蔵 所	4	0	4
販 売 業 者	7	0	7
特 定 高 圧 ガ ス 消 費 者	4	0	4

13. 高圧ガス保安法関係事務処理状況

令和2年度

区 分	件 数
製 造 許 可	0
製 造 施 設 等 変 更 許 可	0
貯 蔵 所 設 置 許 可	0
貯 蔵 所 変 更 許 可	1
製 造 ・ 貯 蔵 完 成 検 査	0
販 売 事 業 届	1
特 定 高 圧 ガ ス 消 費 届	0
そ の 他 の 届	22
保 安 検 査	5
合 計	29

14. 液化石油ガス法事務処理状況

令和2年度

区 分	件 数	
充てん設備	許 可 (変 更)	0
	完 成	0
	保 安 検 査	0
液 化 石 油 ガ ス 設 備 工 事 届	0	

15. 火薬類取締関係事務処理状況

令和2年度

区 分	件 数	
許 可	消 費 許 可	0
立入検査	煙 火 消 費 場 所	0

16. 自主防災組織結成状況

令和3年4月1日現在

	幼年消防クラブ		少年消防クラブ		婦人防火クラブ		合 計	
	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数
牛窓町	6	293	5	105	3	53	14	451
邑久町	8	942	7	534	17	487	32	1,973
長船町	8	657	4	374	3	72	15	1,103
合 計	22	1,892	16	1,013	23	622	61	3,527



大町での防火防災啓発活動

R2.12.20

17. 防火・防災指導、実技指導、広報活動状況

(1) 防火・防災指導 令和2年度

内 容	回 数
防火・防災講話	3
防災映画・ビデオ等	0
消防署見学・体験学習	19
合 計	22

(2) 実技指導 令和2年度

内 容	回 数
消火・避難訓練	16
起震車体験	0
煙体験	0
合 計	16

(3) 広報活動

令和2年度

内 容	回 数
巡回広報・パレード	延べ15回
防火啓発紙の配布	延べ5回
市広報誌への掲載	随 時
市、消防本部のホームページへの掲載	随 時
瀬戸内市防災無線広報	随 時
防火看板類の掲示	本署で年間を通じて防火標語、本署・両分駐所で火災予防運動期間中



1 通信指令施設

設 置 名 等		設置数	備 考	
指 令 装 置	指令台 (I型)	119番受付回線	12	メール・FAX・NET119含
		指令回線	3	本署、牛窓、長船
		一般加入回線	4	INS回線
		自動出動指定装置	1式	
		地図等検索装置	2台	
		長時間録音装置	1台	
		非常用指令設備	1台	
		指令制御装置	1式	
		署所端末装置	3式	本署、牛窓、長船
		携帯電話・IP電話受信転送装置	1式	
		無線指令受付装置	2式	牛窓、長船
		駆込通報装置	3式	本署、牛窓、長船
表 示 盤		支援情報表示盤	1面	
		多目的情報表示盤	1面	65インチ
		映像制御装置	1面	
		告知表示盤	6式	
無 線 統 制 台		1台	12ch統制部	
指 令 伝 送 装 置		指令情報送信装置	1式	
		指令情報出力装置	3式	
気 象 情 報 収 集 装 置		1式		
災 害 状 況 等 自 動 案 内 装 置		1式		
順 次 指 令 装 置		1式		
音 声 合 成 装 置		4式		
署 所 監 視 カ メ ラ シ ス テ ム		4台	WEBカメラ	
出 動 車 両 運 用 管 理 装 置		1式	13台	

設 置 名 等		設置数	備 考
システム監視装置		1式	
電源設備		1式	
位置情報通知システム		1式	統合型
IT情報端末(Web型)		2式	指令台併設型
NET 119 受信装置		1式	
119番受信FAX		1式	
メール119番受信装置		1式	
119番補助受付装置		2式	
防災無線連動装置		1式	
消防情報支援システム	消防情報管理装置	1式	
	消防情報支援端末装置	5式	
避雷装置	高速電源避雷器	3式	本部、署所
	高速回線避雷器	16回線	

2 有線通信施設

種 別	設置数	備 考
119番受付回線	12	固定4、携帯転送1、携帯4、メール1、FAX1、NET1
一般加入回線	10	本部・本署 8、牛窓分駐所 1、長船分駐所 1
携帯電話	9	救急車4、署所4、指揮車1
ファクシミリ	4	本部・本署 2、牛窓分駐所 1、長船分駐所 1
転送電話	2	牛窓分駐所 1、長船分駐所 1
テレホンサービス	2	火災情報案内、病院情報案内

3. 無線通信施設

デジタル無線(260MHz帯)

チャンネル番号	種 別	運用区分
1	活動波 1	火災、救急業務等の業務全般に使用
2	活動波 2	
3	主運用波 7	県内からの応援部隊の火災、救急業務等及び消防機関相互の連絡調整に使用
4	統制波 1	異なる都道府県内に属する消防機関相互の応援活動を行う場合において、各消防機関相互の通信統制を行うために使用
5	統制波 2	
6	統制波 3	
7	主運用波 1	広域応援又は救援時に限り使用
8	主運用波 2	
9	主運用波 3	
10	主運用波 4	
11	主運用波 5	
12	主運用波 6	

種 別	局 数	設 置 場 所	
固 定 局	2 局	四辻山基地局 1、倉懸山中継所 1	
基 地 局	2 局	四辻山基地局 1、牛窓基地局 1	
陸上移動局	卓上型(5W)	3 局	消防本部 1、牛窓分駐所 1、長船分駐所 1
	車 載 (5 W)	4局	瀬戸内市消防本部 指揮車 1、司令車 1、連絡車 2
		10局	瀬戸内市消防署 消防車 3、救急車 2、救助工作車 1 梯子車 1、資機材搬送車 3
		2局	牛 窓 分 駐 所 消防車 1、救急車 1
		2局	長 船 分 駐 所 消防車 1、救急車 1
	携 帯 (5 W)	1局	瀬戸内市消防署 1
	携 帯 (1 W)	18局	瀬戸内市消防署 14、牛窓分駐所 2、長船分駐所 2

署活系無線 アナログ無線(400MHz帯)

チャンネル番号	種 別	運用区分
1	署活波1	管轄内及びその周辺において、災害現場での作業その他これらに付帯する業務に使用
2	署活波2	

4. 火災報知専用電話(119)月別受信状況

通報の 種別 月 別	火 災	救救 助助 含 急む	そ災 の 他 の害	問 合 せ	回 線 試 験	い た ず ら	間 違 い	そ の 他	転 送	合 計
1月	0	151	0	8	17	0	15	41	8	240
2月	0	109	2	9	21	0	6	36	5	188
3月	3	108	1	9	33	0	7	36	6	203
4月	1	93	0	4	23	0	11	16	8	156
5月	2	114	4	12	23	0	12	27	3	197
6月	0	103	2	9	43	2	9	31	6	205
7月	0	115	0	12	30	0	8	31	5	201
8月	0	134	2	12	37	0	11	22	12	230
9月	0	128	4	11	18	0	9	19	14	203
10月	0	133	3	8	23	0	16	34	10	227
11月	0	113	0	12	35	0	10	40	8	218
12月	3	132	4	11	18	0	7	38	9	222
合 計	9	1,433	22	117	321	2	121	371	94	2,490

5. 医療機関問い合わせの受付状況

診療科目	内科		外科・整形外科		脳外科		小児科		精神科		産科・婦人科		循環器科		眼科		耳鼻咽喉科		歯科		泌尿器科		合計	
	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入
受付の種別	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入
8:30~17:00	9	4	14	22	3	0	2	11	1	0	1	0	0	0	2	7	3	6	2	1	0	0	37	51
17:00~8:30	20	11	15	11	6	2	16	5	0	0	0	0	0	4	5	4	2	3	0	2	0	70	36	
合計	29	15	29	33	9	2	18	16	1	0	1	0	0	0	6	12	7	8	5	1	2	0	107	87

6. 月別気象状況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
気温 ℃	平均気温	5.9	5.3	8.8	11.1	18.3	22.4	24.3	28.1	23.7	16.2	11.5	5.1	年平均 15.1℃
	最高気温	15.7	17.9	19.9	22.2	27.3	30.9	33.4	35.6	35.8	26.7	24.1	15.4	年最高 35.8℃
	最低気温	-2.8	-4.1	-2.0	-0.4	5.2	12.9	17.5	21.3	11.9	4.5	0.5	-3.8	年最低 -4.1℃
湿度 %	平均湿度	85.5	83.1	81.2	73.6	79.8	84.9	92.2	84.9	84.6	85.2	86.2	83.1	年平均 83.7%
	最低湿度	35.5	33.8	22.7	22.5	16.9	33	52.2	41.9	36.3	38.0	39.7	43	年最低 16.9%
天候	晴天日数	15	13	15	13	17	8	4	19	12	14	20	21	171日 46.7%
	曇天日数	12	10	9	11	11	14	18	11	16	13	9	7	141日 38.5%
	降雨日数	3	6	7	6	3	8	9	1	2	4	1	3	53日 14.5%
	降雪日数	1												1日 0.3%
	霧日数													0日 0.0%
	降雨量mm	44.0	30.0	74.0	105.0	58.0	171.0	258.0	1.0	79.5	95.0	48.0	10.5	総雨量 974.0mm
風向 風速	平均風速	1.8	2.1	2.1	2.4	1.9	1.7	1.6	1.6	1.9	1.6	1.7	2	年平均 1.9m
	最大瞬間風速	21.7	18.4	17.6	17.4	17.6	13.8	14.2	12.6	22	14.9	14.5	23.7	年最大 23.7m
	平均風向	WSW	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	WNW	WSW	年最多 SE

備考

1 平均気温、平均湿度、平均風速については、1時間ごとの平均値とし、瀬戸内市消防本部の気象観測による。

2 天候については、午前9時の気象による。

警 防 消 防

1. 消防車両現勢一覧

令和3年4月1日現在

所 属	車 種	名 称	登 録 番 号	車 両 年 式	原 動 機 性 能		ポ ン プ 性 能		積 載 資 器 材
					気 筒 数	排 気 量	級 別	規 格 放 水 量	
瀬 戸 内 市 消 防 本 部 署	水 槽 付 ポ ン プ 車	瀬 戸 内 1 号 車	岡山800 は17-37	令和1年	6	5,120	A2	2.00	水槽2000ℓ、CAFS泡消火薬液120ℓ、筒先(エコファイターノズル、Gフォースノズル、クアドラノズル)、空気呼吸器、三連梯子、投光器、発電機、ホース(50mm、65mm)、ホースブリッジ、エンジンカッター、チェーンソー、自動昇降装置電動ホースカー、フォグネイル、マルチツール
	高 規 格 救 急 車	瀬 戸 内 3 号 車	岡山800 す55-64	平成21年	6	3,490			気道確保器具一式、除細動器、気管挿管セット、人工呼吸器、薬剤、輸液セット、固定器具、患者監視モニター等 オゾン発生装置
	資 機 材 搬 送 車	瀬 戸 内 4 号 車	岡山 480 た60-92	平成28年	3	650			
	司 令 車	瀬 戸 内 5 号 車	岡山800 さ51-18	平成13年	6	3,270			ボートトレーラー牽引装置、水難救助器具一式
	連 絡 車	瀬 戸 内 6 号 車	岡山500 ま98-33	平成14年	4	1,490			
	指 揮 車	瀬 戸 内 7 号 車	岡山800 さ46-31	平成12年	4	2,980			現場対策本部設置用具、火災原因調査用具、投光器、発電機
	資 機 材 搬 送 車	瀬 戸 内 8 号 車	岡山 80 あ17-03	平成13年	3	650			
	資 機 材 搬 送 車	瀬 戸 内 9 号 車	岡山800 さ58-87	平成13年	4	2,980			
	連 絡 車	瀬 戸 内 10号車	岡山 51 た50-55	平成13年	3	650			
	高 規 格 救 急 車	瀬 戸 内 11号車	岡山800 せ23-57	令和2年	6	2,690			気道確保器具一式、除細動器、気管挿管セット、人工呼吸器、薬剤、輸液セット、固定器具、患者監視モニター等、 防振装置、冷温蔵庫、オゾン発生装置
	梯 子 車	瀬 戸 内 12号車	岡山800 は・9-97	平成19年	6	10,520			25m級、リフター装置付、筒先、ホース(50mm、65mm)、投光器、発電機
	ポ ン プ 車	瀬 戸 内 13号車	岡山800 す…-16	平成16年	6	4,890	A2	2.00	可搬ポンプ式(C-1)、二連梯子、ホース(50mm、65mm)、空気呼吸器、投光器、発電機、電動ホースカー、筒先(クアドラノズル、フォグガン)、ジェットシューター、ホースブリッジ
	連 絡 車	瀬 戸 内 14号車	岡山 480 て71-69	令和1年	4	650			放送設備
	ポ ン プ 車	瀬 戸 内 15号車	岡山 88 す95-35	平成8年	6	4,100	A2	2.00	可搬ポンプ式(C-1)、二連梯子、ホース(50mm、65mm)、筒先、空気呼吸器、投光器、発電機、ホースカー、ジェットシューター、ホースブリッジ
	救 助 工 作 車	瀬 戸 内 16号車	岡山800 は・7-62	平成16年	6	6,400			一般救助器具、重量物排除器具、切断用器具、破壊用器具、測定用器具、呼吸保護用器具、隊員保護用器具、水難救助用器具等
	ポ ー ト ト レ ー ラ ー	-	岡山800 る・7-10	平成23年	-	-			ゴムボート、船外機一式
牛 窓 分 駐 所	ポ ン プ 車	牛 窓 1 号 車	岡山800 す58-47	平成22年	6	4,000	A2	2.00	可搬ポンプ式(C-1)、二連梯子、ホース(50mm、65mm)、筒先(クアドラノズル)、空気呼吸器、投光器、発電機、電動ホースカー、ジェットシューター、ホースブリッジ
	高 規 格 救 急 車	牛 窓 2 号 車	岡山800 す24-04	平成17年	6	3,490			気道確保器具一式、除細動器、気管挿管セット、人工呼吸器、薬剤、輸液セット、固定器具、患者監視モニター等 オゾン発生装置
長 船 分 駐 所	ポ ン プ 車	長 船 1 号 車	岡山 88 す・5-82	平成29年	6	4,000	A2	2.00	水槽600ℓ、CAFS泡消火薬液60ℓ、筒先、空気呼吸器、三連梯子、投光器、ホース(50mm、65mm)、ホースブリッジ、エンジンカッター、電動ホースカー
	高 規 格 救 急 車	長 船 2 号 車	岡山800 す73-99	平成24年	6	3,490			気道確保器具一式、除細動器、気管挿管セット、人工呼吸器、薬剤、輸液セット、固定器具、患者監視モニター等 静脈可視装置、オゾン発生装置

2. 火災概況

種 別	2018年中 (平成30年中)	2019年中 (平成31年中)	2020年中 (令和2年中)
出火件数(件)	12	19	10
焼損棟数(棟)	11	11	10
り災世帯数(世帯)	5	7	6
り災人員(人)	10	20	19
死者(人)	0	0	0
負傷者(人)	0	2	1
焼損床面積(m ²)	553	467	288
焼損表面積(m ²)	25	8	4
林野焼損面積(a)	54	60	0
損害額(千円)	47,342	18,504	24,725
1日平均出火件数(件)	0.03	0.05	0.03
1日平均り災人員(人)	0.03	0.05	0.05
1日平均り災世帯(世帯)	0.01	0.02	0.02
1日平均り災損害額(千円)	130	51	68
建物火災1件当りの損害面積(m ²)	53	47	41
火災1件当りの損害額(千円)	3,945	974	2,473
住民1人当りの損害額(円)	1265	497	667
1世帯当りの損害額(円)	3,049	1,180	1,563
市の人口(人)	37,411	37,268	37,049
市の世帯数(戸)	15,524	15,675	15,816
出火率	3.2	5.1	2.7

※人口・世帯数は各年1月1日現在

※出火率:人口1万人あたりの出火件数

3. 過去3年間の出火原因別火災発生状況

(令和2年)

火災種別	出火原因														計											
	たばこ	こんろ	ローソク・蚊取線香	ゴミ焼却炉	電気ストーブ	接続器	電気機器	交通機関内配線	枯草焼き	煙突・煙道	静電気	金属と金属の衝突の火花	配線器具・配電線	マッチ・ライター		たき火	ボイラー	個体の衝突摩擦による火花	ハンドトーチ	取灰	火のついたごみ	炭火	放火	放火の疑い	その他	不明
建物		1			1	1							1							1	1			1		7
林野																										
車両								1																		1
その他	1															1										2
爆発																										
計	1	1			1	1		1					1			1				1	1			1		10

(平成31年)

火災種別	出火原因														計											
	たばこ	こんろ	ローソク・蚊取線香	ゴミ焼却炉	電気ストーブ	接続器	電気機器	交通機関内配線	枯草焼き	煙突・煙道	静電気	金属と金属の衝突の火花	配線器具	マッチ・ライター		たき火	ボイラー	個体の衝突摩擦による火花	ハンドトーチ	取灰	火のついたごみ	炭火	放火	放火の疑い	その他	不明
建物	1	1	2							1					1		1		1						2	10
林野															1											1
車両								1			1															2
その他				1						2					1					1					1	6
爆発																										
計	1	1	2	1				1	1	2	1			3		1		1	1					3	19	

(平成30年)

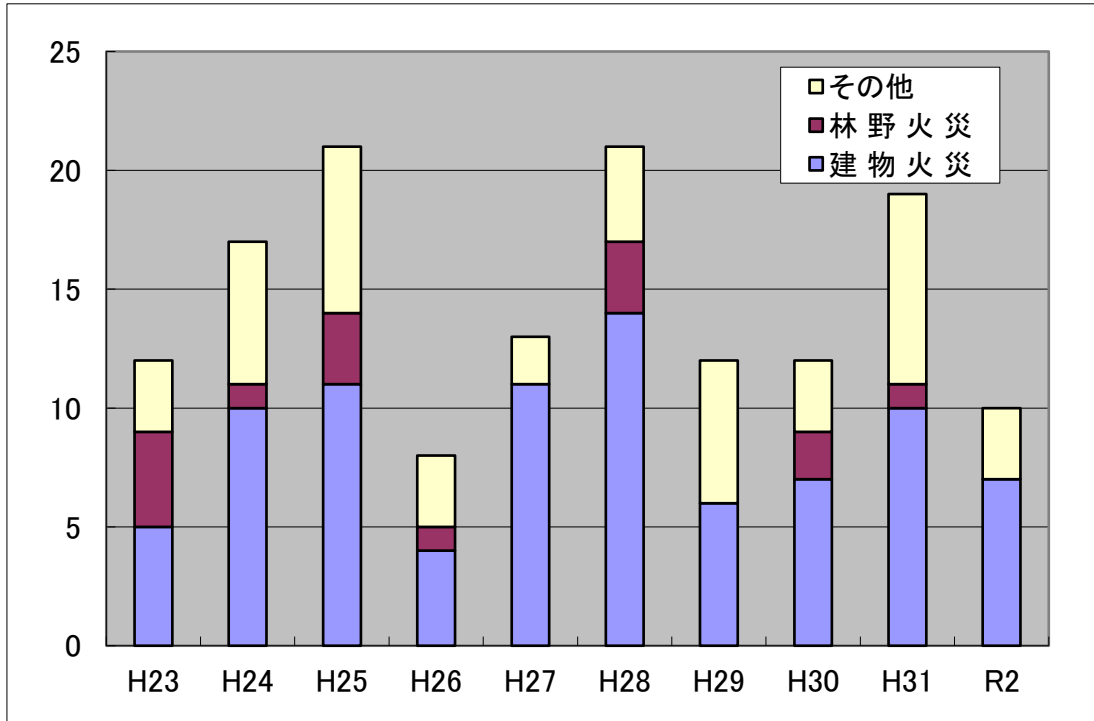
火災種別	出火原因														計											
	たばこ	こんろ	ローソク・蚊取線香	ゴミ焼却炉	電気ストーブ	接続器	電気機器	交通機関内配線	枯草焼き	煙突・煙道	内燃機関	金属と金属の衝突の火花	配線器具	マッチ・ライター		たき火	ボイラー	個体の衝突摩擦による火花	ハンドトーチ	取灰	火のついたごみ	炭火	放火	放火の疑い	その他	不明
建物			1				1						1		2									1	1	7
林野															1			1								2
車両																							1	1	2	
その他															1											1
爆発																										
計			1				1						1		4			1						2	2	12

4. 過去5年間の火災発生比較

区分	年別	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年
火災件数	火災件数	21	12	12	19	10
	建物	14	6	7	10	7
	林野	3	0	2	1	0
	車両	0	1	2	2	1
	その他	4	5	1	6	2
焼損棟数	焼損棟数	22	6	11	11	10
	全焼	5	0	5	2	2
	半焼	1	1	1	2	1
	部分焼	7	1	1	4	3
	ぼや	9	4	4	3	4
焼損面積	焼損床面積(m ²)	569	169	553	467	288
	焼損表面積(m ²)	56	0	25	8	4
	林野(a)	7	0	54	60	0
り災世帯数	15	2	5	7	6	
り災人員	45	7	10	20	19	
死者	0	0	0	0	0	
負傷者	2	2	0	2	1	
損害額(千円)	損害額(千円)	24,689	12,528	47,342	18,504	24,725
	建物	24,453	9,361	46,769	17,030	23,705
	林野	100	0	573	0	0
	車両	0	3,089	0	232	1,000
	その他	136	78	0	1,242	20

5. 過去10年間の火災動向

年	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2
建物火災	5	10	11	4	11	14	6	7	10	7
林野火災	4	1	3	1	0	3	0	2	1	0
その他	3	6	7	3	2	4	6	3	8	3
合計	12	17	21	8	13	21	12	12	19	10



6. 水利現況

令和2年12月31日現在

町別		牛窓町	邑久町	長船町	計
消火栓	75mm	84	220	228	532
	100mm	50	107	113	270
	150mm	50	64	83	197
	200mm以上	53	52	16	121
	計	237	443	440	1,120
防火水槽	20m ³ 以上40m ³ 未満	2	3	10	15
	40m ³ 以上	17	56	24	97
その他	プール	3	5	4	12
	接岸(海)	7	9	0	16

警 防 救急・救助

1. 救 急 概 況

項 目	平成31年・令和1年	令和2年
1. 出 場 件 数	1,886件	1,662件
火 災	2件 0.1%	0件 0.0%
自 然 災 害	0件 0.0%	0件 0.0%
水 難	3件 0.2%	9件 0.5%
交 通	108件 5.7%	116件 7.0%
労 働 災 害	17件 0.9%	23件 1.4%
運 動 競 技	10件 0.5%	8件 0.5%
一 般 負 傷	341件 18.1%	292件 17.6%
加 害	1件 0.1%	2件 0.1%
自 損 行 為	9件 0.5%	17件 1.0%
急 病	1,190件 63.0%	1,012件 60.9%
そ の 他	205件 10.9%	183件 11.0%
2. 傷 病 者 搬 送 件 数	1,815件	1,578件
3. 搬 送 人 員	1,823人	1,585人
男	940人 51.6%	807人 50.9%
女	883人 48.4%	778人 49.1%
4. 出 場 件 数 の 多 い 月	1月	1月
5. 出 場 件 数 の 多 い 曜 日	月曜日	木曜日
6. 出 場 件 数 の 多 い 時 間 帯	8～10時	8～10時
7. 1 日 の 最 多 出 場 件 数	14件	14件
8. 1 日 の 最 少 出 場 件 数	0件	0件
9. 1 日 当 た り の 平 均 出 場 件 数	5.2件	4.5件
10. 1 日 当 た り の 平 均 搬 送 員	5.0人	4.3人
11. 1 件 当 た り の 医 療 機 関 問 合 わ せ 回 数	1.18回	1.22回
12. 人 口 に 対 す る 搬 送 人 員	20.4人に1人	23.4人に1人
	令和2年1月1日現在	令和3年1月1日現在
	人 口 37,268人	人 口 37,049人
	世帯数 15,675戸	世帯数 15,816戸

2. 時間別出場件数

時間区分	件数	時間区分	件数
0 ~ 2	57	12 ~ 14	214
2 ~ 4	44	14 ~ 16	167
4 ~ 6	63	16 ~ 18	193
6 ~ 8	134	18 ~ 20	158
8 ~ 10	234	20 ~ 22	104
10 ~ 12	203	22 ~ 24	91

3. 過去5年の署所別出場件数

年	28年	29年	30年	31年・1年	2年
本署	829	867	887	994	888
牛窓分駐所	261	322	317	292	249
長船分駐所	470	539	560	600	525
計	1560	1728	1764	1886	1662

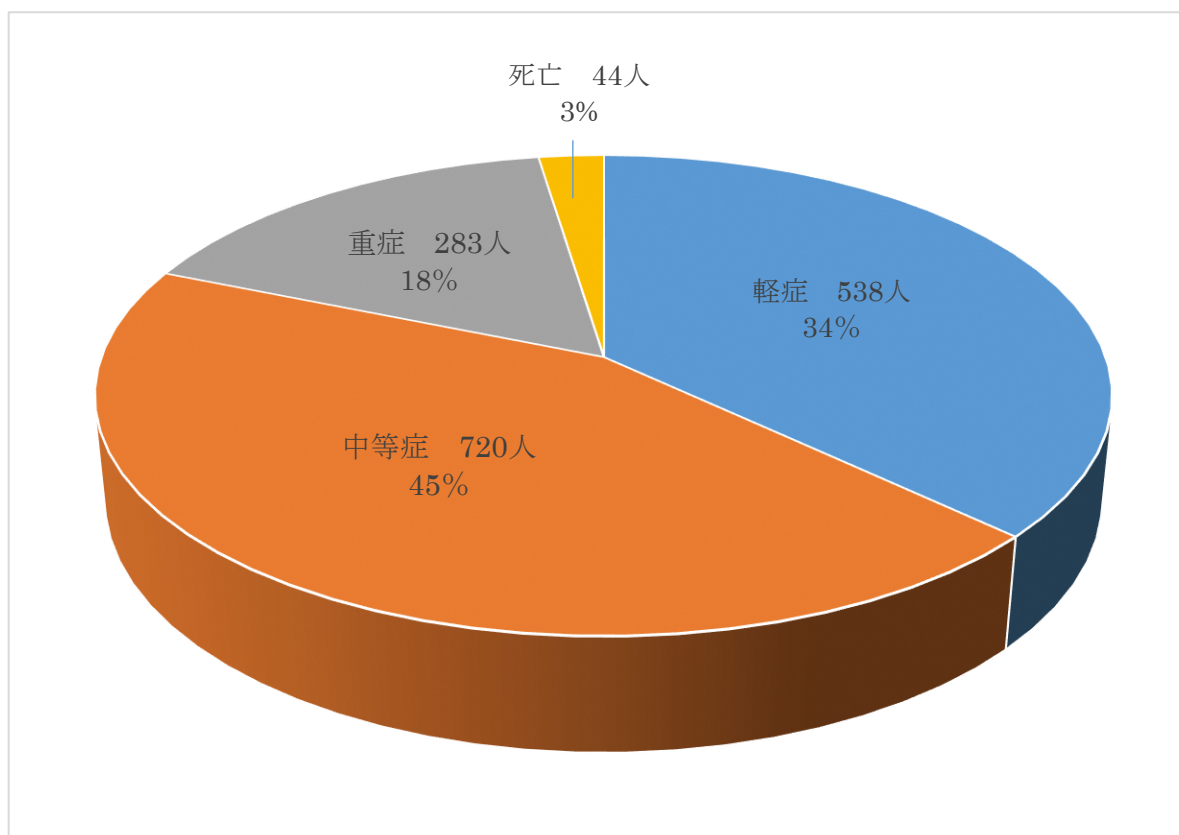
4. 曜日別月別救急出場件数

事故種別 区分		火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他				計
												転院 搬送	医師 搬送	資器 材等	その他	
曜 日 別	月			2	15	4		41		4	149	29				244
	火				9	2	2	30		3	145	19				210
	水				16	3		49		1	134	30				233
	木			2	15	3		41		4	150	36			2	253
	金			1	30	4	1	40	1	2	133	40				252
	土			1	16	5	2	43	1	1	163	18				250
	日			3	15	2	3	48		2	138	9				220
	計			9	116	23	8	292	2	17	1012	181			2	1662
月 別	1月			1	12			29	1	2	108	20				173
	2月				13	4	1	20			76	21				135
	3月			1	5	1		22			75	12				116
	4月				8	1		18		1	73	13				114
	5月			1	8			28		2	81	19				139
	6月				8	3		15		2	80	10				118
	7月				9	1	1	27	1		81	11				131
	8月			3	10	3		34		3	94	7				154
	9月				16	4	1	24		2	85	23				155
	10月				12	2	1	22		4	92	13			1	147
	11月				11	2	2	24			70	16				125
	12月			3	4	2	2	29		1	97	16			1	155

5. 事故種別出場件数と男女別搬送人員

事故種別	出場件数	搬送人員		
		男	女	計
火災	0	0	0	0
自然災害	0	0	0	0
水難	9	6	0	6
交通	116	64	53	117
労働災害	23	19	4	23
運動競技	8	7	1	8
一般負傷	292	120	163	283
加害	2	0	1	1
自損行為	17	2	3	5
急病	1012	487	475	962
その他	183	102	78	180
合計	1662	807	778	1585

6. 傷病程度別搬送状況(搬送人員1,585人 100%)



7. 年齢区分別傷病程度の状況

区 分 程 度	新 生 児	乳 幼 児	少 年	成 人	高 齢 者	計
死 亡		2		7	35	44
重 症			1	34	248	283
中 等 症		8	12	140	560	720
軽 症		39	40	191	268	538
そ の 他						
計		49	53	372	1111	1585



8. 事故種別応急処置状況

事故種別	搬送人員	応急処置対象人員	止血	固定	人工呼吸	心臓マッサージ	心肺蘇生	酸素吸入	気道確保	保温	被覆	在宅療法	血糖測定	除細動	輸液	薬剤投与	その他	血圧測定	聴診器	血中酸素	心電図	合計
急病	962	962	6	19	6		39	252	55	56	1	8	18	2	22	12	146	912	375	922	514	3365
交通	117	116	8	68			2	10	3	9	27				1	1	1	114	52	114	21	431
一般負傷	283	282	22	121			6	25	7	15	58	3			3	2	12	266	65	276	38	919
上記以外	223	223	7	27			7	57	8	14	14	1	1		1	2	24	217	60	218	83	741
計	1585	1583	43	235	6		54	344	73	94	100	12	19	2	27	17	183	1509	552	1530	656	5456

9. 急病にかかる疾病分類・傷病程度別搬送人員

疾病分類 傷病程度	循環系		消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確	計
	脳疾患	心疾患等									
死亡		17		4				2	4	5	32
重症	44	31	16	25	1	4	5	14	12	13	165
中等症	42	52	53	71	2	25	29	13	81	61	429
軽症	14	20	31	18	13	28	20	2	53	137	336
その他											
計	100	120	100	118	16	57	54	31	150	216	962

10. 医療機関別搬送人員

区 分	医 療 機 関															そ の 他 の 場 所	合 計
	救急告示医療機関					その他の医療機関					計						
	国 ・ 公 立	公 的	私 的		計	国 ・ 公 立	公 的	私 的		計	国 ・ 公 立	公 的	私 的		計		
		病 院	診 療 所					病 院	診 療 所					病 院		診 療 所	
人 員	(141)	(232)	(662)	(14)	(1049)	(3)	(0)	(32)	(1)	(36)	(144)	(232)	(694)	(15)	(1085)	(0)	(1085)
	639	232	662	14	1547	3	0	32	3	38	642	232	694	17	1585	0	1585
割 合	100															0	100
	97.6					2.4					100						
(%)	41.3	15.0	42.8	0.9	100	7.9	0.0	84.2	7.9	100	40.5	14.6	43.8	1.1	100		

※ () うち書きは、管外の医療機関に収容した人数。

11. 管内管外別搬送人員

事故種別 区分	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その 他	計
管内に住所 を有する者			3	72	8	3	264	1	5	883	154	1393
管外に住所 を有する者			3	45	15	5	19			79	26	192
その他												
計			6	117	23	8	283	1	5	962	180	1585

12. 現場到着所要時間別出動件数状況

現場到着 事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計	現場到 着最短 所要時 間(分)	現場到 着最長 所要時 間(分)	現場到着 平均所要 時間(分)
急病	20	30	567	387	8	1012	1	38	9.1
交通	2	4	67	37	6	116	0	44	9.8
一般負傷	10	9	159	110	4	292	0	22	9.0
上記以外	1	18	167	38	18	242	1	23	8.5
計	33	61	960	572	36	1662			

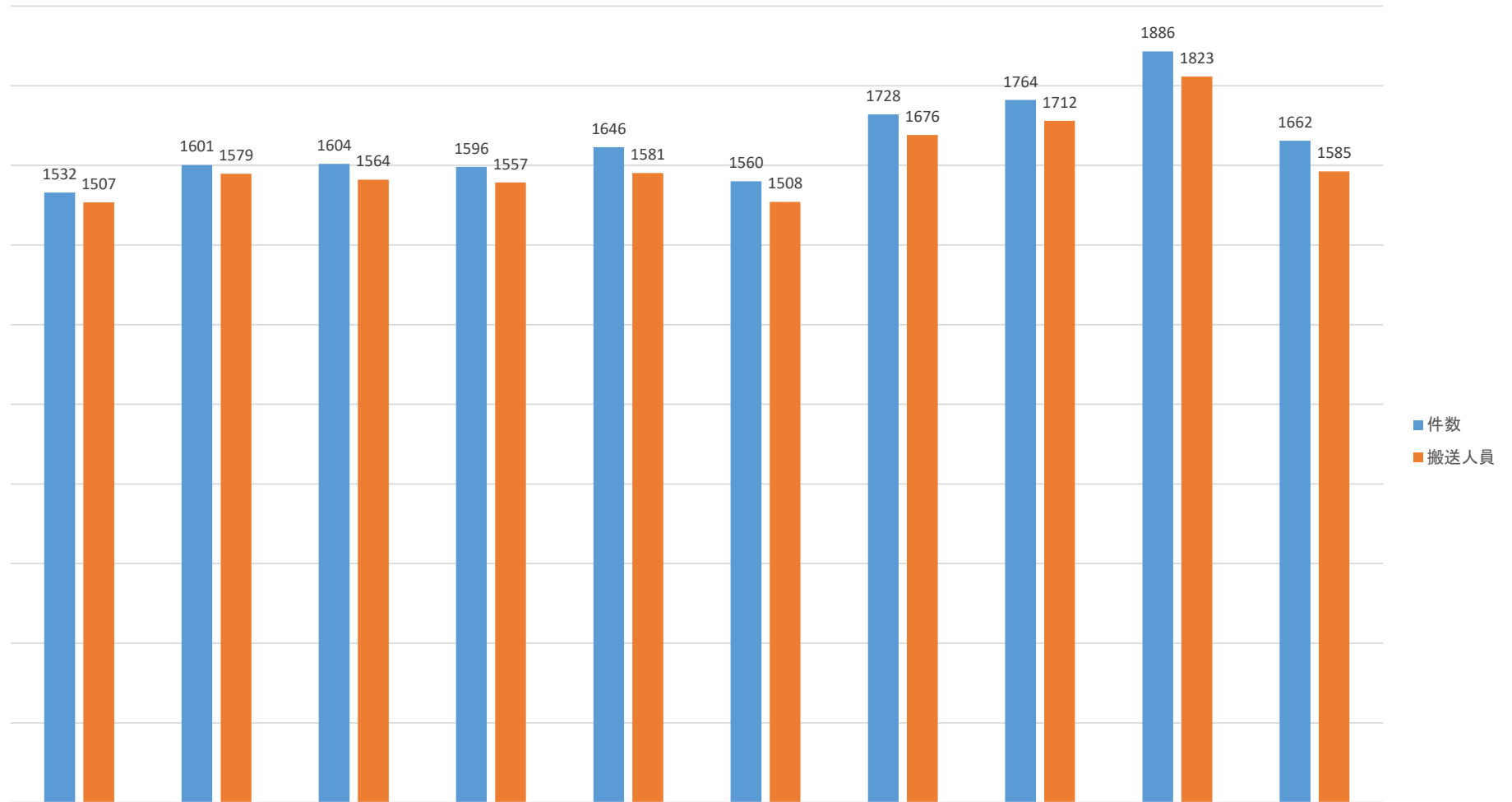
13.收容所要時間別搬送人員狀況

時間(分) 事故種別	時間(分)						計
	10未満	10～20	20～30	30～60	60～120	120以上	
急病		13	205	699	45		962
交通		2	24	82	9		117
一般負傷		4	52	215	12		283
上記以外		5	30	164	23	1	223
計		24	311	1160	89	1	1585

14.発生場所別搬送人員

発生場所 事故種別	発生場所					計
	住宅	公衆出入	仕事場	道路	その他	
急病	720	194	26	13	9	962
交通	1	7		102	7	117
一般負傷	188	55		16	24	283
上記以外	5	188	21	1	8	223
計	914	444	47	132	48	1585

15. 過去10年間の搬送状況

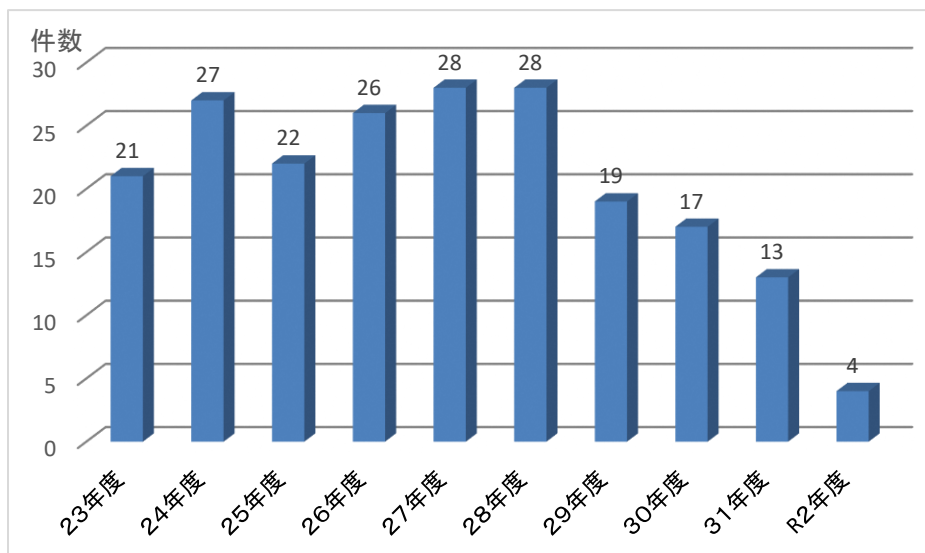


	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年・R1年	2年
件数	1532	1601	1604	1596	1646	1560	1728	1764	1886	1662
搬送人員	1507	1579	1564	1557	1581	1508	1676	1712	1823	1585

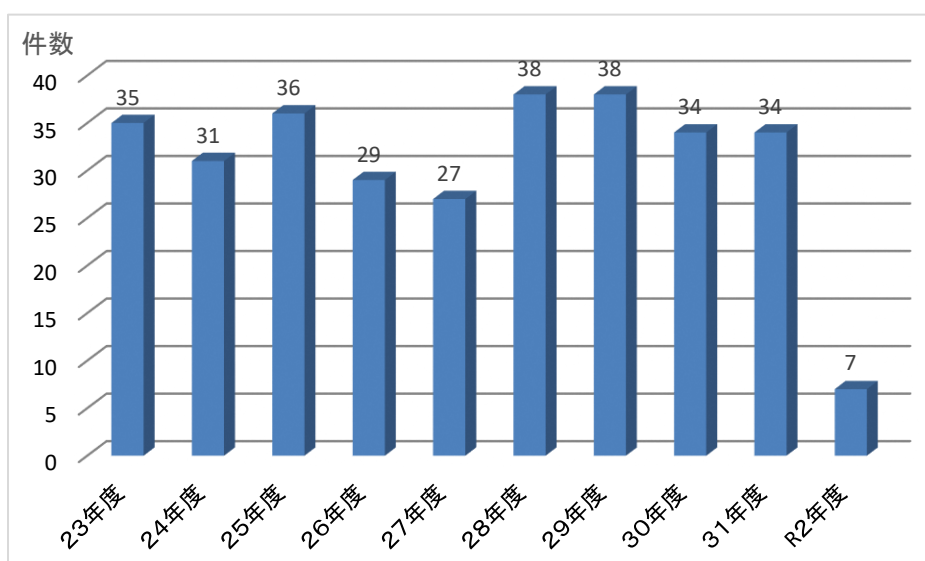
16. 事故種別年齢区分別搬送人員

事故種別 年齢区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児												
乳幼児				5			11			31	2	49
少年				8		7	9			26	3	53
成人			5	65	20	1	31		5	210	35	372
高齢者			1	39	3		232	1		695	140	1111
計			6	117	23	8	283	1	5	962	180	1585

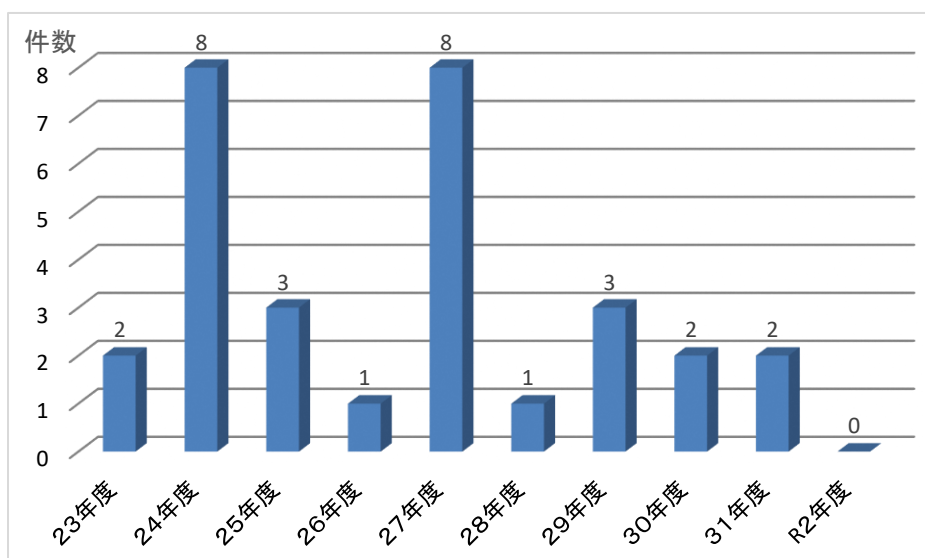
17. 実技指導



普通救命講習



応急手当



水上安全

18. 救助概況

令和2年中

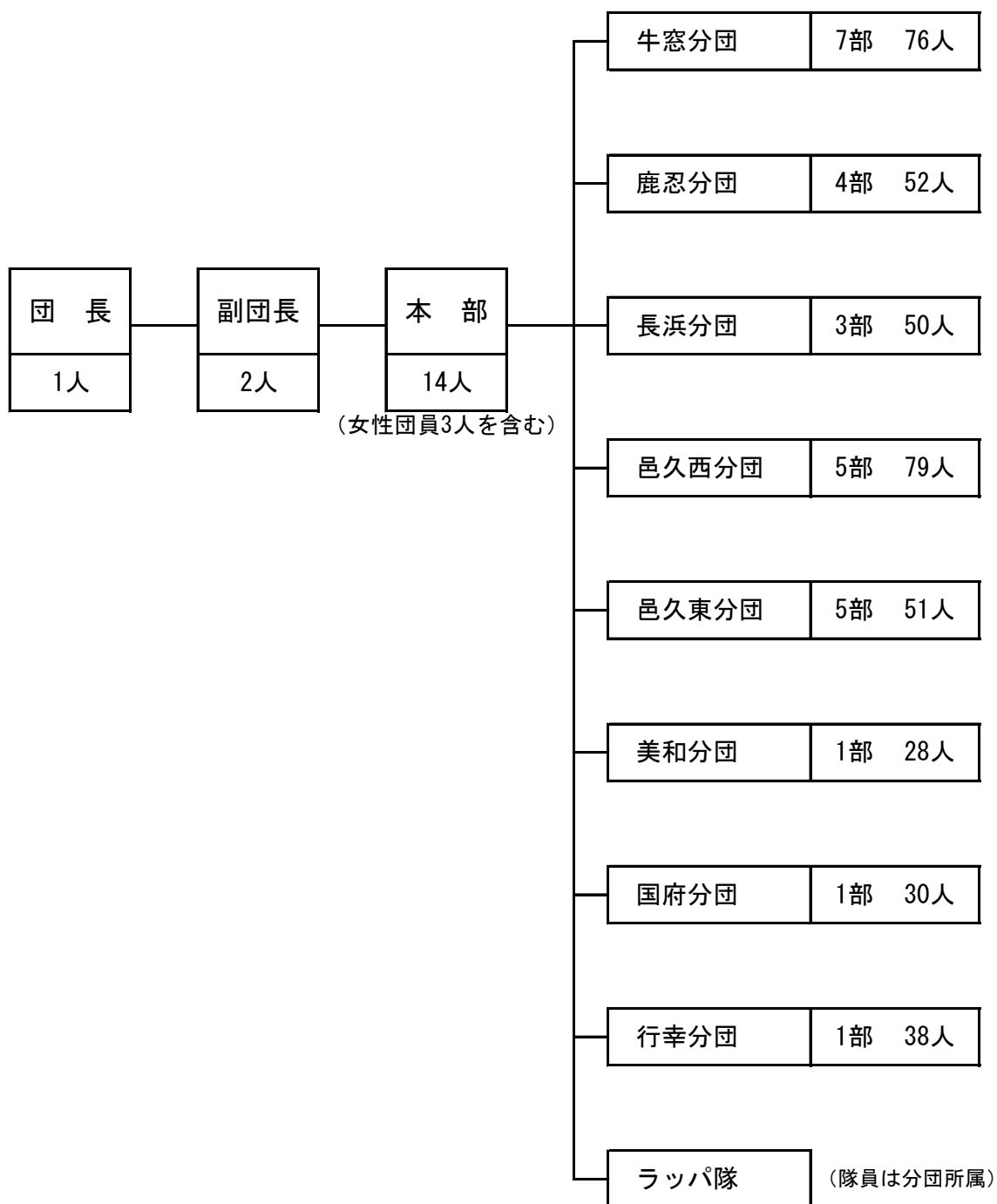
区分 事故種別	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員	出 動 人 員					出 動 車 両 等							
				計	専 任 救 助 隊 員	兼 任 救 助 隊 員	消 防 隊 員	救 急 隊 員	計	救 助 工 作 車	消 防 ポン プ 自 動 車	化 学 車	指 揮 車 ・ 指 令 車	救 急 車	そ の 他 の 車 両	ヘ リ コ プ ター
合 計	52	29	29	431		194	72	165	141	52	2	3	22	55	7	
交 通 事 故	15	8	8	132		54	24	54	42	15	2	2	5	18		
水 難 事 故	7	5	5	67		34	12	21	23	7		1	4	7	4	
機 械 による事故	2	1	1	16		8	2	6	5	2			1	2		
建 物 等 による事故	6	3	3	44		20	6	18	15	6			3	6		
そ の 他 の 事 故	22	12	12	172		78	28	66	56	22			9	22	3	



消 防 団

1. 消防団の組織及び定員

令和3年4月1日 現在



1 団 8 分団
 定員 539人
 実員 421人 (うち女性団員3人を含む)

2. 消防団階級別人員調

令和3年4月1日 現在

(単位：人)

階級 \ 所属	本部		牛窓	鹿忍	長浜	邑久西	邑久東	美和	国府	行幸	計
	幹部	本部									
団 長	1										1
副 団 長	2										2
分 団 長		8	1	1	1	1	1	1	1	1	16
副 分 団 長		1	2	2	1	2	1	1	1	1	12
部 長		2	7	4	3	5	5	1	1	1	29
班 長		1 (1)	7	12	4	5	5	4	4	4	46 (1)
団 員		2 (2)	59	33	41	66	39	21	23	31	315 (2)
合 計	3	14 (3)	76	52	50	79	51	28	30	38	421 (3)

※ () 数字はうち女性団員

3. 団員の階級別年齢状況

令和3年4月1日 現在

年齢 \ 階級	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長 (うち 女性 団員)	団 員 (うち 女性 団員)	計 (うち 女性 団員)
18以上～20未満							1	1
20～25							12	12
25～30					1	1	17	19
30～35						1	28	29
35～40					3	10	49	62
40～45					9	11	55	75 (0)
45～50			4	4	8	13 (1)	72	101 (1)
50～55			3	4	4	5	50 (2)	66 (2)
55～60			5	3	2	3	23	36
60以上	1	2	4	1	2	2	8	20
計	1	2	16	12	29	46 (1)	315 (2)	421 (3)

4. 団員報酬及び諸手当

令和3年4月1日 現在

階級	区分	報酬 (年)	火災出動 (1回)		風水害等 その他の災害		警戒出動 等	訓練	その他
			未 2 時 間 満	以 上 2 時 間	未 2 時 間 満	以 上 2 時 間			
団	長	117,000	2,000	4,000	2,000	4,000	1,500	2,000	4,000
副	団 長	97,000	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
分	団 長	70,000	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
副	分 団 長	48,000	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
部	長	35,000	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
班	長	26,000	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
団	員	20,000	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

単位 (円)

5. 消防団車両状況

令和3年4月1日 現在

所 属	車 種	プレート番号	登録年月
団本部	司令車	岡山800 さ 69-15	H 14. 3
団本部	多機能車 (可搬 ^ホ ン ^ク 積載)	岡山800 す 58-65	H 22. 3
団本部	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車	岡山80 あ ・848	H 7. 12
団本部	ポンプ車	岡山800 す 87-95	H 27. 2
団本部	防災活動車	岡山880 あ 17-33	H 29. 12
市役所 (本庁)	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車 (簡易 ^ホ ン ^ク 車)	岡山800 す 14-00	H 17. 2
牛窓分団第1部 (東町)	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車	岡山80 あ 19-11	H 14. 12
牛窓分団第2部 (関町)	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車	岡山80 あ 15-70	H 12. 12
牛窓分団第3部 (中浦)	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車	岡山800 せ 23-99	R 2. 12
牛窓分団第4部 (紺浦)	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車	岡山880 あ 21-85	R 2. 11
牛窓分団第5部 (師楽)	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車	岡山800 さ 30-01	H 12. 2
牛窓分団第6部 (幡)	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車	岡山800 さ ・329	H 10. 7
牛窓分団第7部 (前島)	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車	岡山800 あ 13-28	H 26. 11
鹿忍分団第1部 (西浜)	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車	岡山800 せ 24-00	R 2. 12
鹿忍分団第3部 (野上)	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車	岡山880 あ 20-26	R 1. 11
鹿忍分団第4部 (千手)	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車	岡山80 あ 17-34	H 13. 9
鹿忍分団第5部 (西脇)	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車	岡山80 あ 15-71	H 12. 12
長浜分団第1部 (奥浦)	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車	岡山800 さ ・330	H 10. 7
長浜分団第2部 (小津)	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車	岡山800 さ 30-02	H 12. 2
長浜分団第3部 (粟利郷)	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車	岡山80 あ 19-10	H 14. 12
邑久西分団第1部 (邑久)	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車	岡山800 せ 13-80	H 31. 2
邑久西分団第2部 (福田)	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車	岡山800 す 56-77	H 21. 12
邑久西分団第3部 (今城)	ポンプ車	岡山800 さ ・859	H 10. 11
邑久西分団第4部 (豊原)	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車	岡山800 す 56-79	H 21. 12
邑久西分団第5部 (笠加)	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車 (簡易 ^ホ ン ^ク 車)	岡山800 す 42-45	H 19. 12
邑久東分団第1部 (本庄)	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車	岡山800 せ ・702	H 30. 2
邑久東分団第2部 (玉津)	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車	岡山800 す 50-04	H 20. 12
邑久東分団第3部 (鍛冶谷)	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車	岡山80 あ 17-33	H 13. 9
邑久東分団第4部 (瀬戸)	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車	岡山800 す 56-37	H 21. 12
邑久東分団第5部 (浜)	ポンプ車	岡山800 さ ・860	H 10. 11
美和分団	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車	岡山800 さ 99-83	H 16. 2
国府分団	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車	岡山800 さ 85-14	H 15. 3
行幸分団	可搬 ^ホ ン ^ク 付積載車	岡山800 さ 99-84	H 16. 2

6. 出動状況

種別 分類	火 災	風水害等 の災害	演習・訓 練等	広 報	警防調査	特別警戒	その他	合 計
出動回数	10	0	144	2	30	10	108	304
出動人員	205	0	1,984	47	152	639	544	3,571

